

地方発モバイルビジネスモデル創出 に係る研究の成果報告書

宮城県企画部情報産業振興室 作成



目次

1	事業概要	…	1
2	モバイルビジネスに係る情報交換や研究	…	2
2 - 1	勉強会の主な内容	…	3
2 - 2	勉強会の開催状況	…	4
2 - 3	モバイルビジネス研究会設立記念セミナー	…	9
2 - 4	モバイルビジネス研究会セミナー	…	12
3	その他本会の目的を達成するために必要な活動	…	17
4	研究活動の成果	…	18
5	今後の課題とその原因	…	19
6	課題解決に向けた新たな取組	…	20

資料(規約, 研究会会員名簿, 研究会パンフレット,
ホームページ写し, セミナーちらし, 成果(企業パンフレッ
ト))



1 事業概要

目的

- モバイルビジネス参入の促進，起業支援
- 東北発のビジネスモデルの創出

事業内容

- 異業種間による研究会を立ち上げ，ネットワークを形成し，首都圏企業との交流，情報収集によるノウハウ蓄積及び研究を多角的な視点から行うため，次の活動を実施する。
 - ・モバイルビジネスに係る情報交換や研究
 - ・その他本会の目的を達成するために必要な活動

2 モバイルビジネスに係る情報交換や研究

○ 勉強会の開催【毎週木曜日開催】

35回実施(平成21年4月～平成22年3月31日)

- ・首都圏で活躍する講師を招聘し,意見交換
- ・地元メディアから講師を招聘し,意見交換
- ・地元企業(広告代理店やSEO会社)から講師を招聘し,意見交換
- ・会員企業同士の情報・意見交換

○ セミナーの開催

2回開催

- ・みやぎモバイルビジネス研究会設立記念セミナー

平成21年6月26日(金)

- ・モバイルビジネス研究会セミナー 平成22年2月26日(金)



2 - 1 勉強会の主な内容

- 首都圏におけるモバイル市場
スマートフォン，mixiアプリや携帯用のFlashがこれから伸びる市場。
- クロスメディアの中での携帯
携帯は他のメディアと連携しやすいため，そこにビジネスのチャンス有り。
- 携帯のSEO 対策
webとは別のアルゴリズムのため，モバイル独自の市場として注目。
- 広告媒体としての携帯
県内における携帯の活用はまだまだ。（首都圏での発注価格の10分の1程度）。

SEO 検索エンジン最適化(Search Engine Optimization)

ある特定の検索エンジンを対象として検索結果でより上位に現れるようにウェブページを書き換えること



2 - 2 勉強会の開催状況

	開催日	講師等	内 容	参加者
1	4月2日	原会長	・「モバイルインターネット10年史」 ・意見交換	20名
2	4月9日	mindway 若吉会員	・「mixi プラットフォーム mixiのオープン化について」 ・意見交換	20名
3	4月16日	(株)NTTドコモ東北支社	・「携帯ショールーム」見学	14名
4	4月23日	NECソフトウェア東北(株) 門脇会員	・「最近の携帯機能の動向とビジネスへの展開を考える」 ・意見交換	15名
5	4月30日	原会長	・「どうなる！？モバイル企業サイトの動向」 ・意見交換	15名
6	5月14日		・研究会設立記念セミナー開催内容及び今後の活動テーマと活動体制等について意見交換	10名
7	5月21日		・研究会設立記念セミナー開催内容及び今後の活動テーマと活動体制等について意見交換	10名
8	5月28日		・研究会設立記念セミナー開催内容について意見交換	15名



勉強会の開催状況

	開催日	講師等	内 容	参加者
9	6月4日		・研究会設立記念セミナー開催内容について意見交換	15名
10	6月11日		・研究会設立記念セミナー開催内容について意見交換	15名
11	6月18日		・研究会設立記念セミナー開催内容について意見交換と今後の活動について	15名
12	7月2日		・研究会設立記念セミナー報告会	20名
13	7月9日	梶 小熊 氏	・「OFDMを用いた広域モバイルネットワーク」についての講演 ・意見交換	25名
14	7月16日	アンデックス(株) 会員企業	・「iPhoneアプリの入門講座」についての講演 ・意見交換	40名
15	7月23日		・だてべん参加企業紹介PR等ならびにフリートーク	20名
16	8月4日	(株)日立製作所	・「エリアワンセグのサービス」についての講演 ・意見交換	25名

勉強会の開催状況

	開催日	講師等	内 容	参加者
17	8月20日	(株)アイ・アンド・シーパートナーズ 杉山社長	・「地元広告代理店でのWeb/ケータイの取り組み業界の動向」についての講演 ・意見交換	25名
18	8月27日	(株)SoleBrain 桜庭社長	・「地元SEO会社のWeb/ケータイの取り組み 業界の動向」についての講演 ・意見交換	25名
19	9月3日	原会長	・ワイヤレスジャパン2009に参加した内容のご報告 ・意見交換	10名
20	9月17日	(株)リーふねっと 山崎取締役副社長	・「昨今のFlashにおけるモバイル事情」についての講演 ・意見交換	25名
21	9月24日	モバイル夜間大学 藤永 氏	・「ケータイのムコウのあの人を虜にする方法」～ケータイの未来とそのマーケティング～について講演 ・意見交換	30名
22	10月15日	トリムタブジャパン(有) 中谷代表取締役	・「モバイル活用・成功のコツは「お客様接点」にあり。」について講演 ・意見交換	20名



勉強会の開催状況

	開催日	講師等	内 容	参加者
23	10月22日	河北新報社	・「ローカルメディアの役割を問い直す ～新聞家とクロスメディアの視点から～」について講演 ・意見交換	25名
24	10月29日		・「だてべん」の今後の活動について意見交換	10名
25	11月12日		・「これ、モバイルで解決できる!?モバイルお悩み相談会」を実施 ・意見交換	10名
26	11月19日		・「だてべんメンバー等のプレゼン」を実施 ・意見交換	10名
27	11月26日	原会長	・「ケータイの活用法、ケータイ販促メールの実態」について意見交換	15名
28	12月3日		・ケータイ白書2010を題材に意見交換を実施	10名
29	12月10日		・プレゼン能力の向上を実施 ・意見交換	10名
30	12月14日	東北大学 青木教授	・「TOHOKUでのアドバンスマシンビジョン産業化の可能性共通の原理を多様なアプリケーションへ展開」を実施 ・意見交換	30名



勉強会の開催状況

	開催日	講師等	内 容	参加者
31	1月21日	原会長	・今年の研究会の予定、取り組み案、イベント案等について意見交換	12名
32	3月4日	三嶋副会長	・みやぎモバイルビジネス研究会セミナー報告	10名
33	3月11日	原会長	・個人、企業が考えるモバイルについてのディスカッション	10名
34	3月18日	アンデックス(株)会員企業	・プレゼン大会 既存メンバーの事業紹介	10名
35	3月25日	(株)ピンポンプロダクションズ 藤井社長	・「最新のモバイルコンテンツビジネス」についての講演 ・意見交換	10名

2 - 3 モバイルビジネス研究会設立記念セミナー 「モバイルインターネットビジネスの展望 10年目の岐路とこれからの変化」

- 開催日時：平成21年6月26日（金）
午後6時～7時30分
- 開催会場：せんだいメディアテーク 7階スタジオ
- 開催内容：基調講演，パネルディスカッション
- 講師：2名
- 参加者数：111名



「モバイルインターネットビジネスの展望 10年目の岐路とこれからの変化」 基調講演の概要

- 携帯電話市場の動向から見て、60代以上もターゲット。
- E C , 物販 , 企業広告を中心とした成長が見込まれる分野とその周辺技術 , 運用関係にビジネスチャンスあり。
- 地域向けのモバイルビジネスの展開について

モバイルプラットフォームはローカルにこそ最適であり活用が期待される。

地方発モバイルビジネスの実現の為には、各地方や地域毎に核 (コア) になる組織・団体や企業が必要である。

「モバイルインターネットビジネスの展望 10年目の岐路とこれからの変化」 パネルディスカッション概要

- モバイルビジネス研究会のような地域の核となる取組に期待大。
- 観光分野でのモバイルの取組については、観光案内はどこでも取り組んでいるので、違った視点での取組が必要。

2 - 4 モバイルビジネス研究会セミナー 「2010 モバイルビジネス最前線」

- 開催日時：平成22年2月26日（金）
午後3時～6時30分
- 開催会場：せんだいメディアテーク 7階スタジオ
- 開催内容：講演，パネルディスカッション
- 講師：4名
- 参加者数：109名



2010 モバイルビジネス最前線 講演概要

第1部 モバイルインターネット業界の展望とビジネスチャンス

- モバイルアプリ開発で必要なことは、企画力、短期間での開発、低コスト開発である。
- 今後伸びるのは、日常生活の延長線上としてのソーシャルアプリビジネスである。
- 10～20代の世代は、インターネットに接続する機器としてモバイルを利用しており、この年代が社会人になれば、これまで以上にモバイルは伸びる市場となる。
- 中国では、携帯などのモバイル機器は7億台利用されているが、そのうちインターネットにつながるものは1億台であり、インターネット市場としては6億台の伸び代がある。

2010 モバイルビジネス最前線 講演概要

第2部 モバイルを活用したマーケティングと地域産業発展の可能性

- モバイルだけでは完結しないので，他のメディアと連携しながらモバイルを活用する必要がある。
- 市場セグメントを狭く，武器（メディア）を絞ることが大切である。
- 携帯のGPS機能を活用したゲームと地域の特産品とを連携させることで地域産業の活性化につながる。

JR九州の各駅における特産品の販売と連携したJR切符の販売やJT B東北と連携した岩手県バスツアーなどを企画。

2010 モバイルビジネス最前線

ディスカッション概要

第3部 ディスカッション 2010 東北×モバイルで仕掛けるには

○ 投資したいジャンルについて

- ・ゲームはライフサイクルが短い(1つのゲームで3ヶ月位)などハードルが高い。
- ・それ以外のものでも成長の余地あり、特にプラットフォームをしっかりと考えたものは、息の長いものとなる。

○ リアルとの連動について

- ・今回のテーマのとおり地域などのローカル情報との連動が大切。
- ・リアルとの連動については何もしなくても、そのような方向に変わる。ただ、それを加速させるために、ネットユーザーを増やす取組が必要。
- ・実際に販売している商品をネット上のアイテムとする。

2010 モバイルビジネス最前線

ディスカッション概要

- 高齢者がモバイルを使うようにするには
 - ・ベンチャーが大きな流れを起こすのは不可能だが、孫とのコミュニケーションなど必要とされる分野のサービスを展開するののも一つの手である。
 - ・今使っていない人に使ってもらうのは困難。出会いが大切。
 - ・ネット業界の課題の一つであり、今後の社会変化を考えれば、取り組まなければならない課題の一つ。高齢者にとって携帯は画面が小さく使いにくいという問題があるので、キャリアやメーカーも含め、モバイルの規格を変えていく必要がある。

3 その他本会の目的を達成するために必要な活動

- webサイト作成

URL:<http://www.mimos.jp/index.html>



- 研究会PRパンフレット作成



4 研究活動の成果

- モバイルビジネス参入の促進，起業支援

 - 1社2個人が新規に本研究会に入会

 - 参入数や起業数を把握することが困難なため，指標として，便宜上，新規会員企業(個人)とした。

- 東北発のビジネスプランの創出

 - 東北発のビジネスプランを創出するまでには至らなかったものの，会員企業の中には，モバイルのシステムを活用した新規事業を立ち上げる企業が誕生した。

5 今後の課題とその原因

課題

- 目的である東北発のビジネスプランの創出には至らなかった。

原因

- システム開発者，広告代理店，サービスを提供する事業者とも，モバイルをビジネスに利用するという意識がまだ低い。
- 本研究会は，システム開発者が中心の会であったため，ビジネスとしてモバイルサービスを提供する事業者やサービスを利用するユーザーとの交流が少なかった。

6 課題解決に向けた新たな取組

- ビジネスを成り立たせる土壌を育てるため、研究会の活動を通して、モバイルサービスを提供する事業者やサービスを利用するユーザーの意識を高める。
- 研究会の活動を充実させ、会の魅力を高めることで、多様な立場の企業や個人を会に取り込み、異業種間の交流を活性化させる。

【次年度以降の研究会の取組】

- ・ 東京のモバイル勉強会をサテライト中継するなど研究会の魅力を高める活動を行うとともに、積極的に情報を発信することで、様々な立場の企業等がモバイルの活用を知る機会を増やす。
- ・ 研究会の会員とモバイルを活用した事業展開を検討している事業者との商談を目的としたプレゼンイベント「アライアンスミーティング」等に取組む。
- ・ 東北発のモバイルビジネス創出を目指し、助成金等を活用した実践的なプロジェクトを立ち上げる。